

《最近の県内経済》 (2024年5月を中心として)

今月の概要

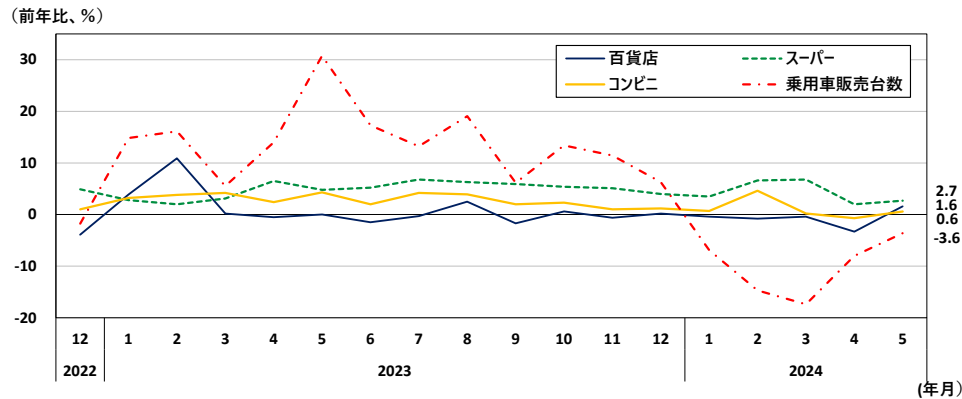
横ばいの動きとなっている。



1 個人消費 ~横ばいの動きとなっている

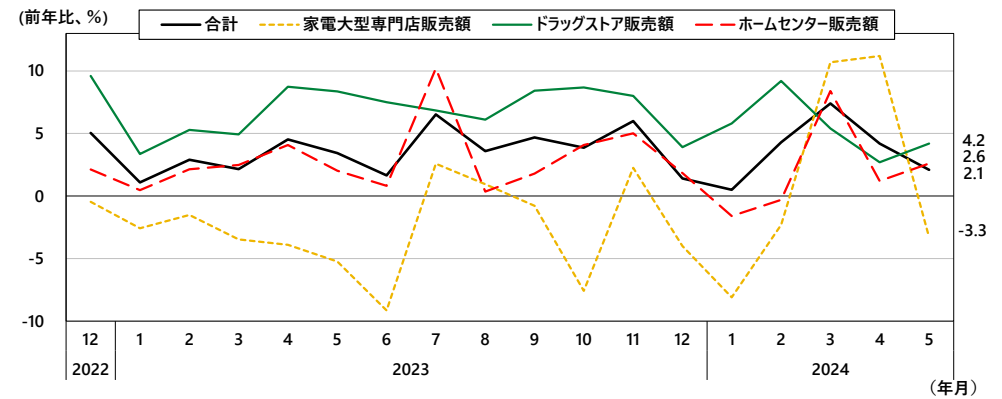


百貨店/スーパー/コンビニ販売額、乗用車販売台数【前年比】



(資料) 経済産業省、埼玉県自動車販売協会など

専門量販店販売額【前年比】



(資料) 経済産業省

個人消費は、横ばいの動きとなっている。

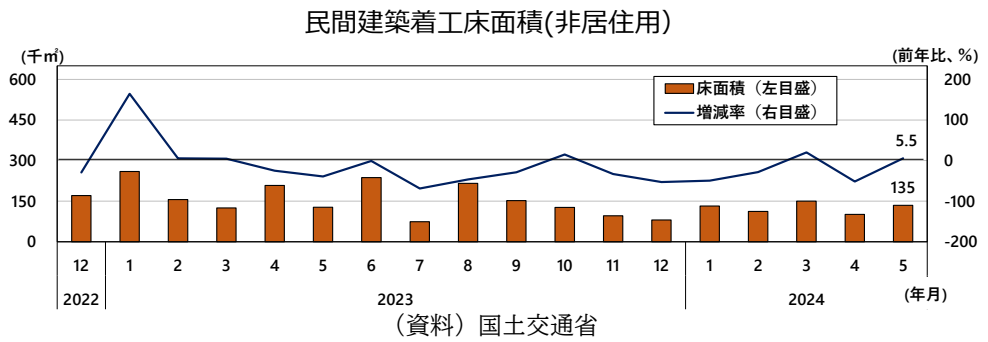
5月の百貨店およびスーパーの販売額(店舗調整前)は、百貨店は122億円で前年比1.6%増(5か月ぶりの増加)、スーパーは1,062億円で同比2.7%増(20か月連続の増加)となった。また、コンビニ販売は538億円で同比0.6%増(2か月ぶりの増加)となった。

また、乗用車販売は、前年比3.6%減と5か月連続の減少となった。依然として認証試験不正による出荷停止の影響などが続いているものの、マイナス幅は減少している。内訳をみると、普通車が同比6.1%増(2か月連続の増加)となったものの、小型車が同比15.1%減(9か月連続の減少)、軽乗用車が同比8.2%減(7か月連続の減少)となった。

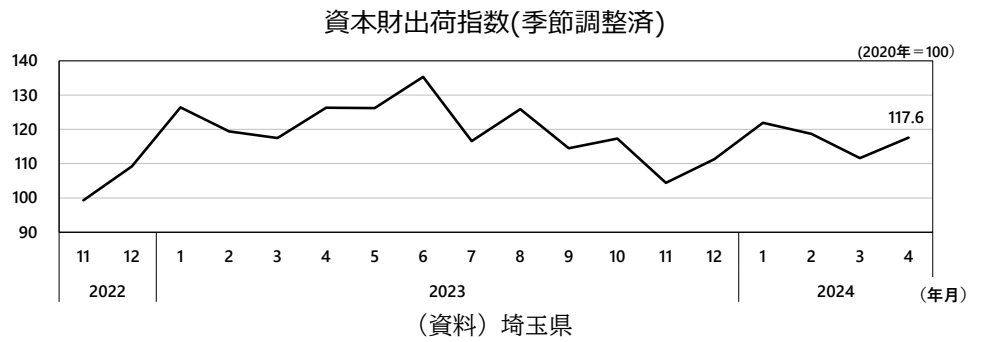
5月の専門量販店販売額は、792億円で前年比2.1%増と21か月連続の増加となった。内訳をみると家電大型専門店が168億円で同比3.3%減(3か月ぶりの減少)となったものの、ドラッグストアが425億円で同比4.2%増(24か月連続の増加)、ホームセンターが199億円で同比2.6%増(3か月連続の増加)といずれも増加となった。

関東1都6県の消費者態度指数(原数値)は、4月<39.2>、5月<37.5>、6月<37.4>と推移している。

2 設備投資 ~投資計画は強いものの、足元弱含んでいる 前月比

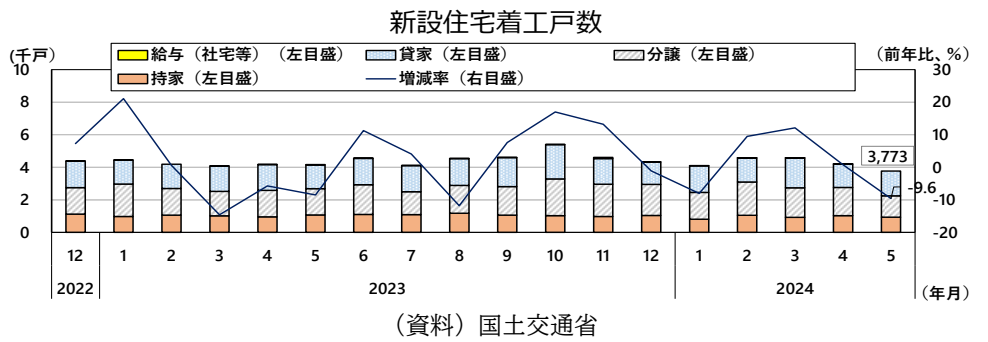


5月の民間建築着工床面積（非居住用）は、135千㎡で前年比5.5%増と2か月ぶりの増加となった（5か月後方移動平均では前年比28.2%減）。用途別にみると、店舗、工場及び作業場、学校の校舎、病院・診療所はいずれも減少したものの、事務所、倉庫は増加した。



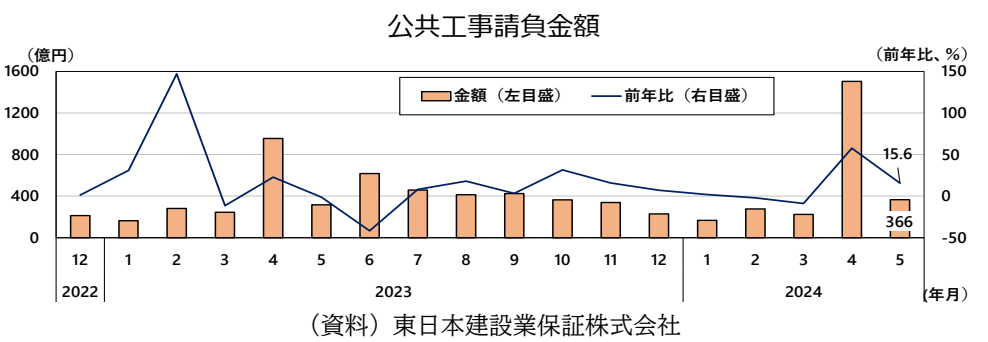
4月の資本財出荷指数（季節調整済）は117.6で、前月比5.4%増と3か月ぶりの増加となった。（5か月後方移動平均でも、前年比2.6%増加）。当研究所が昨年8月に実施した「設備投資動向調査」では、企業の設備投資計画額は、前年比増加している（全産業前年比+8.8%）。

3 住宅建設 ~一進一退 前月比



5月の新設住宅着工戸数は、3,773戸で前年比9.6%減と4か月ぶりの減少となった（5か月後方移動平均でも0.8%増）。利用関係別にみると、貸家（1,520戸）が前年比4.8%増となったものの、持家（935戸）が同比12.8%減、分譲マンション（170戸）が同比59.6%減、分譲一戸建て（1,131戸）が同比4.9%減となった。

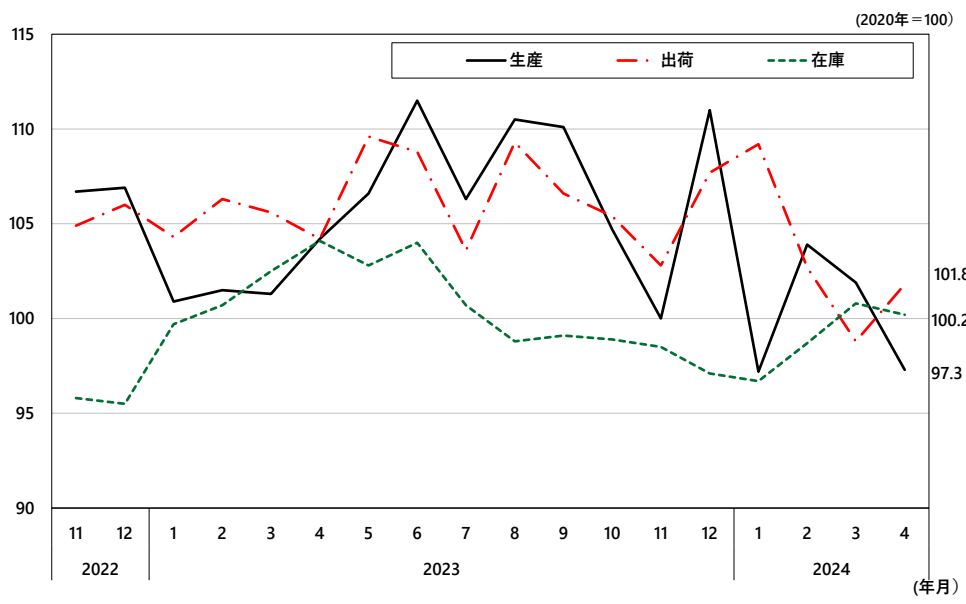
4 公共工事 ~底堅く推移している 前月比



5月の公共工事請負額は366億円、前年比15.6%増となった（2か月連続の増加）。5か月後方移動平均でも前年比29.3%増で推移。発注者別の前年比をみると、国は減少したものの、独立行政法人等、都道府県、市区町村は増加した。

5 生産活動 ~弱含んでいる ➡ 前月比

鉱工業生産・出荷・在庫指数(季節調整済)



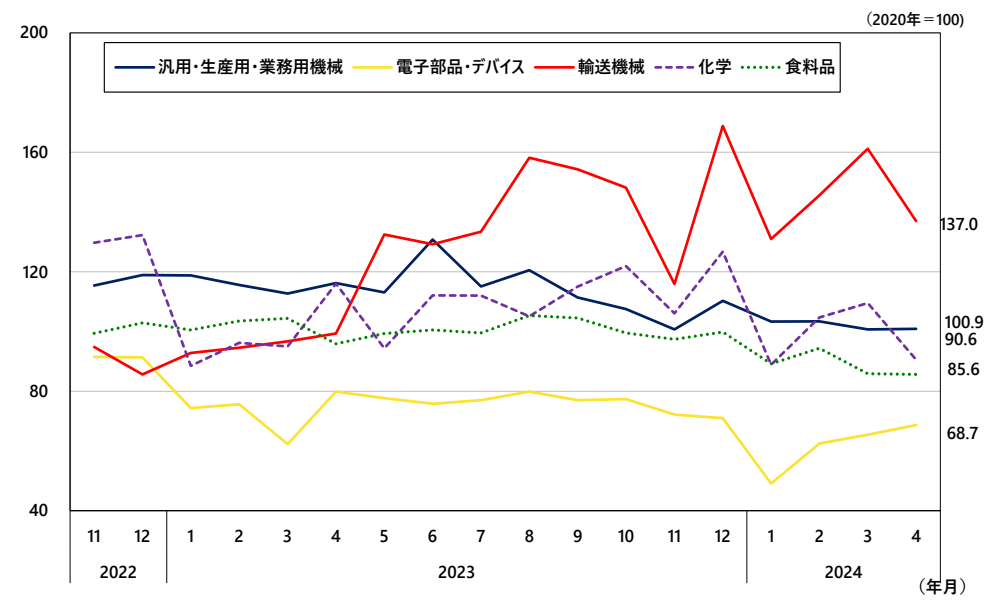
(資料) 埼玉県

4月の鉱工業生産指数(季節調整済)は、97.3で前月比4.5%低下した(2か月連続の低下)。汎用機械(ポンプ、空気圧機器)、業務用機械(医療用機械器具、試験機)などが上昇したが、化学(医薬品)、輸送機械(けん引車、輸送機械用エアコン)などが低下した。

出荷指数(同)は、101.8で同比3.0%上昇した(3か月ぶりの上昇)。生産用機械(半導体製造装置、マシニングセンタ)、プラスチック製品(プラスチック製容器、合成皮革)など低下したが、化学(医薬品、印刷インキ)、情報通信機械(金銭登録機(端末機能付)、ガス警報器)などが上昇した。

在庫指数(同)は、100.2で同比0.6%低下した(3か月ぶりの低下)。業務用機械(分析機器)、プラスチック製品(プラスチック製容器、プラスチック板)などが上昇したが、生産用機械(マシニングセンタ、整地機械)、電気機械(電気計器、鉛蓄電池)などが低下した。

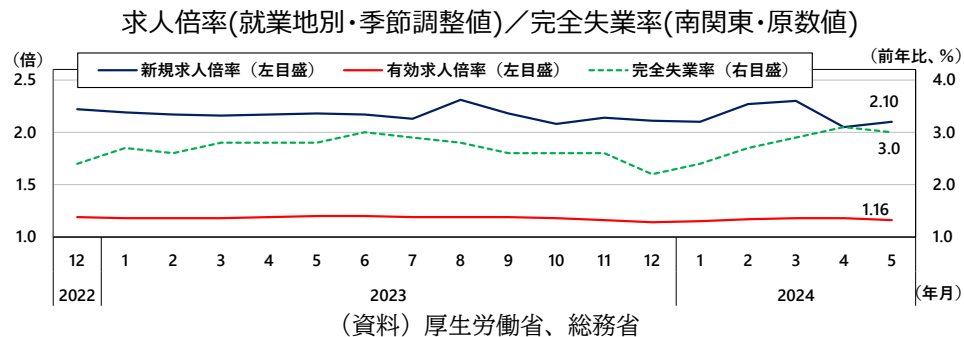
主要業種の生産指数(季節調整済)



(資料) 埼玉県

- ◆ 汎用・生産用・業務用機械(同)は、100.9で同比0.3%上昇し、2か月ぶりの上昇となった。
- ◆ 電子部品・デバイス(同)は、68.7で同比5.0%上昇し、3か月連続の上昇となった。
- ◆ 輸送機械(同)は、137.0で同比15.0%低下し、2か月ぶりの低下となった。
- ◆ 化学(同)は、90.6で同17.3%低下し、3か月ぶりの低下となった。
- ◆ 食料品の生産指数(季節調整済)は、85.6で前月比0.3%低下し、2か月連続の低下となった。

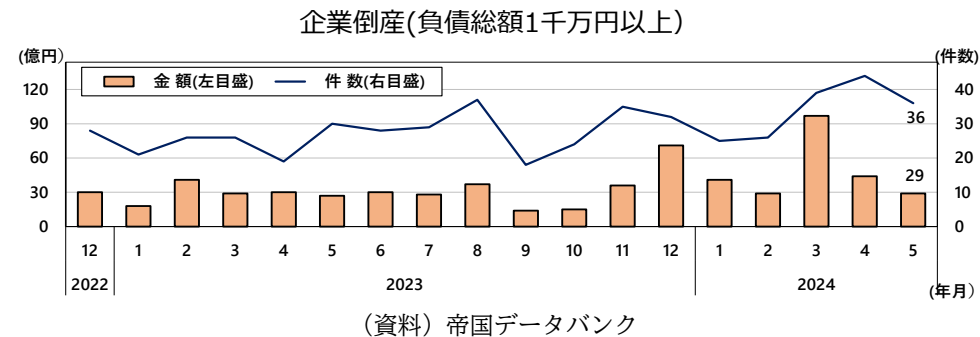
6 雇用情勢 ~緩やかに持ち直している ⇒ 前月比



5月の有効求人倍率(就業地別、季節調整値)は、1.16倍で前月比0.02倍低下(5か月ぶりの低下)、新規求人倍率(同)は、2.10倍で同比0.05倍上昇(2か月ぶりの上昇)となった。

また、完全失業率(南関東、原数値)は、3.0%で前年同月比0.2倍上昇した(前年同月比4か月連続の上昇)。

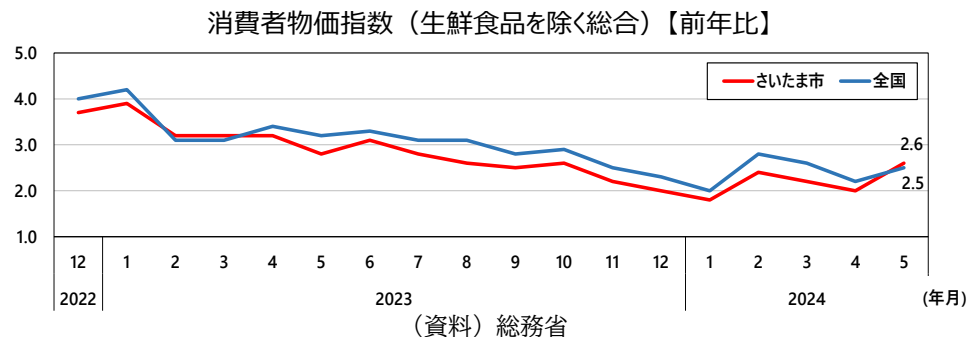
7 企業倒産 ~増加傾向にある ⇒ 前月比



5月の企業倒産件数は36件で前年同月比6件の増加となった。また、負債総額は29億円で同比2億円の増加となった(5か月移動平均でも、件数は前年比10件の増加、負債総額は同比19億円の増加)。

業種別にみると、建設業が最多で11件、次いでサービス業が9件、卸売業が8件となっている。主因別では、販売不振が28件となっている。

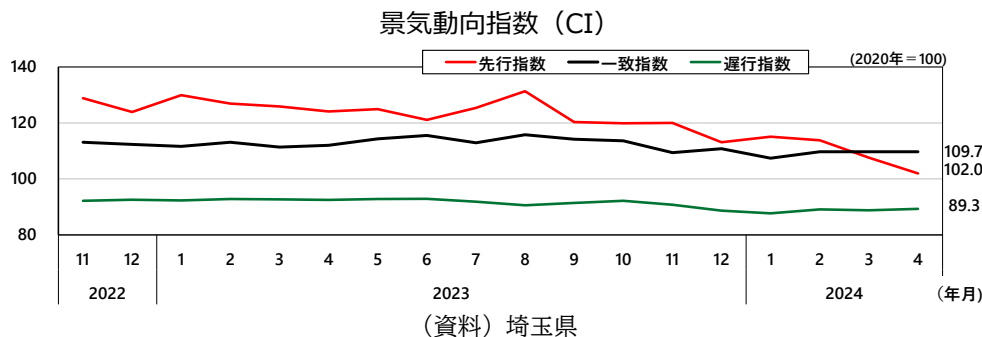
8 消費者物価 ~上昇率が高止まりしている ⇒ 前月比



5月の消費者物価指数(生鮮食品を除く総合)は、106.8で前年同月比2.6%上昇した(32か月連続の前年同月比上昇)。

電気代、教養娯楽(旅行費など)などが上昇し、全体を押し上げている。

〈参考〉景気動向指数(CI) ~足踏みを示している ⇒ 前月比



・4月のCI一致指数(景気の現状を示す)は、109.7で前月差横ばいとなった。

・CI先行指数(景気の数か月先を示す)は、102.0で同5.6倍下降し、3か月連続の下降となった。

・CI遅行指数(景気に遅れて反応する)は、89.3で同0.5倍上昇し、2か月ぶりの上昇となった。